

2024年11月29日

各位

会社名 東洋合成工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 木村 有仁
(コード番号:4970 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 経営企画部長 渡瀬 夏生
(電話番号:03-5822-6170)

助成金交付決定に関するお知らせ

東洋合成工業株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長:木村有仁)は、本日、千葉県香取郡東庄町の千葉工場、千葉縣市川市の市川工場、兵庫県淡路市の淡路工場における半導体フォトレジスト原材料(感光材および高純度溶剤)の供給能力拡大計画が、経済産業大臣により「経済施策を一体的に講ずることによる安全保障の確保の推進に関する法律」に基づく「供給確保計画」に認定されましたので、お知らせいたします。

記

1. 申請の背景

持続可能な脱炭素社会の実現には、あらゆるデバイスの最適運用が必須とされ、リアルタイムネットワークの大容量化、AIの活用も企図され、電子デバイスや半導体が未来の社会インフラを担うとされています。特に半導体分野では2020年から2030年にかけて、2倍以上の市場成長が予測され、その後も成長が継続すると予想されています。また、すでに世界各国では戦略的投資競争が加速し、AIをはじめとした高性能な電子デバイスの実現に向け多くの機能性材料の供給拡大が望まれています。

当社ではその実現に向け、高純度合成、精製技術にさらに磨きをかけ、急増する需要と顧客品質を満たす安定供給体制を継続的に強化するため、5カ年の中期経営計画 Beyond500(2022年4月～2027年3月)を策定し、半導体の製造に必要な不可欠なフォトレジストの主要原材料を製造する千葉工場、市川工場、淡路工場において生産能力を強化しております。その後も半導体関連産業の成長は継続すると考えており、今回の補助金申請は2027年から2029年の生産能力増強として次期中期経営計画に該当してまいります。当社では、このような継続的な供給能力の拡大を通して、デジタル社会の実現に貢献してまいります。

2. 認定供給確保計画の概要

- 事業の名称:
経済施策を一体的に講ずることによる安全保障の推進に関する法律に基づく供給確保計画
- 申請事業者:
東洋合成工業株式会社
- 対象内容:
先端フォトレジスト向け原料(感光材・ポリマー・高純度溶剤)の国内における生産能力の強化
- 必要な資金の額:
約211億円(最大助成額 約70億円)

3. 今後の見通し

(1) 2025年3月期業績への影響

本件が2025年3月期の業績へ与える影響はございません。

(2) 今後に与える影響

対象事業の完了は2029年3月末を予定しております。現在進行中の現中期経営計画Beyond500の計画に与える影響は現在見込んでおりません。次期中期経営計画期間の設備投資総額、助成金の受給額、及びその影響につきましては、今後開示すべき事象が発生した場合は速やかに開示いたします。

以 上

参考資料:

新中期経営計画「Beyond500」についてのお知らせ

[20220511medium-term management plan Beyond500.pdf](https://www.toyogosei.co.jp/files/20220511medium-term%20management%20plan%20Beyond500.pdf)

新中期経営計画「Beyond500」補足説明資料

https://www.toyogosei.co.jp/files/20220524_ir_doc.pdf